

No.	総合計画カテゴリ	地区	ご意見	回答
1	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	金子	現在、ナラ枯れの伐採費用の補助制度は個人が補助対象。法人や寺社等も対象にできないか。	倒木などにより寺社への被害が想定されることを聞き及んでいる。実態を調査させていただきながら、補助対象を拡大できないか検討させていただきたい。
2	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	金子	花ノ木は住民が集える場所の確保に苦慮している。現在、保育所の庭を利用させていただいているが、保育所移転後も引き続き利用させてもらいたい。	地域の声や周辺施設の状況を加味しながら総合的に検討していく。
3	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	金子	金子小学校の敷地内にある忠霊塔の管理は、法律的根拠を以て私たち遺族会の所有・管理ではなく、市の所有・管理であることを言い切ってもらいたい。	市内全域で、忠霊塔の管理をどのように行っていくか引き続き検討していく。この場で即答はできないので、別の機会に協議をさせていただきたく、ご理解をお願いしたい。
4	安全で安心して暮らせるまちづくり (危機管理、交通安全、生活安全)	金子	金子は市街化調整区域が多いと思うが、市街化区域と市街化調整区域の行政の対応の差が大きいように感じる。対応の差が実際にあるのか調べてもらいたい。	市街化調整区域だから対応できないということではなく、事業の優先順位もあることから対応できていない部分があることが実情である。今後も事業の必要性や緊急度を鑑み、土木関連経費の予算確保に努めていく。
5	安全で安心して暮らせるまちづくり (危機管理、交通安全、生活安全)	金子	金子地区の避難所は、金子地区センター、金子小学校・中学校、茶業研究所の4つしかない。有事の際、公園は大事であるように思うが、金子の公園にはほとんど水道やトイレがないので、いくつかの公園だけでもいいので、水道を引くなどの検討をいただきたい。	避難の拠点に水道やトイレ、防災倉庫があるということは非常に大切である。今後公園の整備にあたっては、災害時のことも総合的に考えて進めていく。

6	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	金子	青梅ICの開発について、開発が進むと人や車の往来も激しくなってくると思う。金子駅が拠点になってくると思うが、交通やアクセスをどのようにすればスムーズにいくか考えを聞かせていただきたい。	開発に伴う車やトラックの往来が増えることへの対策は、計画のなかでも検討を進めているところである。交通アクセスは非常に重要であり、青梅との道路の接続や幹線道路の渋滞など、総合的に検討していく。
7	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	金子	少子高齢化が進み、車で移動できない人が増えてくると、公共交通網が大変重要になってくるように感じる。現実にはバスの本数減少が見受けられるが、どのように考えているかお聞かせいただきたい。	移動手段となる公共交通機関は重要であるが、コミュニティバスの運行にあたっては、1億円の赤字を市が補填しているのが実情である。今後公共交通機関の充実を図るために、どのようにして採算性を確保していくかが課題となっている。
8	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	金子	市の財政が厳しくなる一方で、市民からの要望は増えている。予算との乖離やギャップをどう埋めるか。具体的な考えがあれば教えていただきたい。	市税収入を増やす方法として、寄附や、クラウドファンディングの取組なども進めている。さまざまな収入源を確保し、柔軟に対応していきたい。
9	つながりを大切にしたまちづくり（人権、コミュニティ、交流）	東藤沢	自治会加入率低下の問題をどのようにとらえているか。	自治会の必要性和魅力を伝えること、顔の見える関係づくりをしていくことが重要である。事例を取り入れながら、市も積極的にこのことを伝えていきたい。
10	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	東藤沢	ふるさと納税を積極的に進め、市の歳入源を確保していくことが大事であると考えているかがか。	ふるさと応援担当では、市外の方に入間市のファンになってもらうことを目的に取組を進めている。ふるさと納税を通じて、まずは入間市のことを知ってもらい、歳入確保につなげていく考えである。
11	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	東藤沢	公共施設が統廃合され、なくなっているなか、市庁舎建て替えをすることに疑問がある。市民の声を聞き、本当に必要なものを取捨選択しながら、市民が望むサービスをお願いしたい。	市庁舎には防災の拠点機能もあることから建て替えざるを得ず、AB棟を建て替え、C棟は建て替えずに使い続けることで、建て替え費用を当初の160億円から110億円とした。市の施設に費用をかけず、市民の皆さまが求めるニーズに基づく施策を進めていきたい。

12	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	東藤沢	観光入込客数が県内第4位となっているが、どのような調べ方をしているか？	県による発表で、入間市の観光入込客数はアウトレットの入込客数（年間約500万人）が主となる。アウトレットを訪れた人が、市内の周遊につながっていないことが課題であり、周遊策についてぜひ皆さまと一緒に考えていきたい。
13	つながりを大切にしたまちづくり（人権、コミュニティ、交流）	東藤沢	地域コミュニティ活性化にかかる専門人材募集の今後の展開について。	専門人材は、約250人の応募者の中から1名を登用した。契約期間は1年間で、全自治会の実態調査の実績報告を以て完了となった。現在、西武文理大学との協定により学生に自治会と連携してもらい、自治会役員の負担を軽減するインターネットツールの活用等を検討している。調査からフェーズを移し、地域の活性化を目指した取組を行っていきたい。
14	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	藤沢	市の施設である老人憩いの家が、老人会が解散したために利用できない。自治会で利用するために市から譲渡してもらうにも手続きの負担が大きすぎるためなんとかできないか。	市の施設である老人憩いの家を自治会へ譲渡する際には、自治会が認可地縁団体であること、認可地縁団体になるには地域住民の同意が必要となること、その後自治会加入世帯員全員の印が必要となる。実現可能か研究をしていく。
15	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	藤沢	武蔵藤沢駅の無人化対応について。事故があった場合に非常に心配である。	何かあったときにしっかりと対応できる体制をつくっていただくよう市としても引き続き西武鉄道に伝えていく。
16	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	藤沢	補聴器の購入助成制度をつくっていただきたい。また、特定健診の項目の中に聴力検査をぜひ追加してもらいたい。	難聴対策として、大変重要であると考えている。聞こえが良くなって高齢者がどんどん外出をしていただけるよう研究していきたい。

17	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	藤沢	太陽光発電パネル設置について。いくつか問題点があり、一番の問題点と考えているのは、大体30年と言われている太陽光発電の寿命である。処分やリサイクルまでを見通したうえでの設置なのか。	市の費用負担を軽減しながら、エネルギーの地産地消を進めている。太陽光パネルの廃棄リサイクルを行う企業が入間市に工場をつくり、リサイクルを進めていく計画である。企業とも連携しながら、太陽光パネルの廃棄や災害時に大丈夫であるかという課題に対し、先進的知見をもって、取組を進めていきたい。
18	つながりを大切にしたまちづくり (人権、コミュニティ、交流)	藤沢	自治会加入率を上げるための努力をしているが、加入率は減っている。自治会優待カードは大変よいインセンティブとなった。さらなる後押しをいただきたい。	不動産業とも協定を組み、新たに家を借りたり購入されたりした方に対して、自治会に加入するようすすめてもらっている。今後も自治会の加入率上昇につながる取組ができるよう頑張っていきたいので、お力添えを願う。
19	つながりを大切にしたまちづくり (人権、コミュニティ、交流)	藤沢	福祉財団の資金利用等によって、市の財政を圧迫せずに、団体運営の助力につながることはないか市でも調べていただきたい。	市ではガバメントクラウドファンディングを進めている。市が稼ぐという一面だけではなく、地域団体が補助金を獲得できる取り組みも進めていこうと考えており、団体のやりたいことを、市がクラウドファンディングにかけるということが実現できるのではないかと思う。ぜひ取組を進めていきたい。
20	計画の実現に向けて(行財政運営の指針)	東金子	老人福祉センターやまゆり荘の来年3月での廃止については、段階的に今後の運営について決定してほしい。	老人福祉法に定める対象者しか利用できない施設であり、ボイラー、空調が壊れて多額の改修費用がかかること、指定管理が今年度末で終了することから、老人福祉センターとしての運用については廃止を決定した。今後については、総合的に判断し、今年度中に方針を決定する。
21	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	東金子	近隣の公園の遊具が壊れた後に撤去された。市として遊具の修繕についてはどう考えているか。	遊具の定期的な更新ができるよう計画を定め、取り組んでいる。今後は子どもたちがたくさん遊んでいる場所では、優先的に遊具の更新をしていきたい。

22	つながりを大切にしまちづくり (人権、コミュニティ、交流)	東金子	地区センター分館で普段活動をしているが、分館廃止後、分館を利用している団体は、本館を利用している団体との利用時間の兼ね合いをどうすればよいか。	分館で活動していたことを理由に不平等が生じないように、調整を行いたいと考えている。今後相談や調整の場を設けるので、ご意見をいただきたい。
23	ささえあいのまちづくり(福祉、健康)	東金子	自衛隊入間病院の現状について伺いたい。	基本的に自衛隊員、その家族向けの病院として機能しているが、令和4年7月からは2次救急についても一部受け入れが開始され、令和5年9月には県から救急病院として認定された。一度受診した方は外来診療も含め再来院が可能である。今後はさらに診療科目の幅が広がったり、一般開放したりしていくかどうか、医師会とも調整を行いながら進めていく。
24	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	東金子	水道管耐震化について。入間市は全国平均の数値よりも低いようだが、市としてどのように考えているか。	耐震工事はコストがかかるため、水道料金の値上げ等、市民の皆さまにもご負担をかけることとなる。その兼ね合いから水道料金と工事のスピード感を総合的に判断しながら、水道管改修の進捗率が早まるよう取り組んでいきたい。
25	安全で安心して暮らせるまちづくり (危機管理、交通安全、生活安全)	東金子	小中学校の通学路に防犯カメラを多く設置してほしい。詐欺予防や徘徊老人の追跡等にも役立つと考える。	防犯カメラの設置は、個人情報保護審議会を都度開催する必要があったため、有事の際は緊急的に防犯カメラを設置できるように要綱の改正を行った。犯罪抑止効果、子どもの見守り等、子どもたちの安全安心を守るためには非常に有効であるので、各地の先進事例を研究し、入間市にあった防犯対策を行っていきたい。
26	学びあいのまちづくり(生涯学習、教育、スポーツ)	東金子	学校給食では無農薬・無添加のものをなるべく出してほしい。	県内他地域と比較しても、入間市の給食は質が高いと思っている。アレルギー対応や、できるだけ無農薬のものを使用する取組は食育にもつながるので、さらに入間市の学校給食を美味しいと言ってもらえるよう頑張っていきたい。

27	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	東金子	茶畑テラスの稼働状況を教えてほしい。市が率先して茶畑を農地転用しやすくなるような施策を進めてほしい。	茶畑テラスは、開始以来1年間で約300人に利用いただいている。農地転用については、農地に住宅を建てるよりも、例えば空き家に住みながら家庭菜園ができるというようなライフスタイルを視点とした住宅政策を進めていきたい。
28	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	東金子	入間市には小中一貫校設立の展望はあるか。	これまでも小中一貫教育という意味で、小中の連携強化を図ってきた。今後の小中学校の統合再編において、同じ敷地内に9学年が入るという小中一貫教育学校も検討していきたい。
29	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	東金子	旧耐震構造住宅の診断費用補助などから耐震化を進めていただきたい。	現在入間市では民間の集合住宅への補助は行っていないが、行っている地域もあるということなので、研究していく。
30	住みやすく緑豊かなまちづくり（都市環境、生活環境、自然環境）	東金子	調整区域と市街化区域の土地のあり方についてどのように考えているか。	農地を守るという農業振興の立場と、開発をして稼ぐという二律背反することを進めなければならない。エリアやターゲット、機能などを定め、市街化区域編入、工場誘致を行い、農業とのバランスを考え、メリハリをつけながら取り組んでいきたい。
31	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	黒須	入間市は自然豊かなので、そこを上手に使い、新しい人が入ってくるような施策を積極的に行っていただきたい。	まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、子どもたちが増えていくようなまちづくりを進めている。市のよいところを市外へもっとPRしたり、子育て政策を充実したりすることで、皆さまから選ばれるまちづくりをしていきたい。
32	つながりを大切にしたまちづくり（人権、コミュニティ、交流）	黒須	市長が市民の前で考えを述べる機会を今回初めて設けられた。市庁舎建て替えの説明会の時など、市長が来られていないことがあったと思う。市民と対話し、考えのすり合わせをしながらよいまちをつくっていくということは非常に大切であると思う。	ご意見、ご指摘いただいたとおり、直接市民の皆さまからのお声を聴けるよう極力出席をさせていただきたい。

33	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	黒須	老人福祉センターやまゆり荘の廃止について経緯を。	老人福祉法に定める対象者しか利用できない施設であり、ボイラー、空調が壊れて多額の改修費用がかかること、指定管理が今年度末で終了することから、老人福祉センターとしての運用については廃止を決定した。今後については、総合的に判断し、今年度中に方針を決定する。
34	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	黒須	旧黒須銀行の今後について。市の財政が厳しく修繕費等も必要となるなか、本当に必要なのか。	旧黒須銀行については、これまでも地域や文化団体の皆さまと議論をしてきた。地域の核として何とか残したいという思いで、頑張っている。厳しい財政下、維持管理や活用に関する難しい課題も多い。よく検討し、多くのご意見をいただきながら進めていきたい。
35	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	黒須	高倉小学校が廃止されると、地区の子どもたちの通学にかなりの時間がかかる。何とかならないか。	通学距離は大きな問題であることから、最重要視し、教育長と議論をしている。子どもたちの教育環境をどのようにしていくか教育委員会、市長部局で一緒になって取り組んでいく。
36	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	黒須	介護ヘルパーの人数が足りない。施設に入所できず、介護が理由で仕事を辞めていく方もたくさんいる。市としてその現状を考えていただきたい。	老老介護の問題や、地域社会、福祉介護医療のあり方など大変重要な課題である。現場の皆さんの声を聞きながら対策を考えていく。
37	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	黒須	入間市の人口減少対策として、子育ての問題があると思うので、流山市の事例を取り入れるなどはいかがか。	流山市は「母になるなら、流山市。」のキャッチコピーで有名で、増えた子育て世代のために一気に保育所をつくったが、将来的にはその世代が高齢化を迎え、保育所の意味がなくなってしまうという社会課題も生じると考えられる。人口減少対策は、全国的に抱えている課題なので、しっかりと向き合いながら将来ビジョンも含めて、取り組んでいきたい。

38	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	黒須	入間市駅北口の開発を進めているが、駅がもっと魅力的にならないといけないと考える。	にぎわいのまちづくりをし、駅の顔を整備することで、移住定住の人口を増やすということ、ご意見いただいたとおりである。入間ゲートウェイ構想に基づき、玄関口の魅力化について、引き続き取組を進めていきたい。
39	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	黒須	保育所利用時間を市が決定するのではなく、保護者が決定できるような仕組みを検討できないか。	子育て政策には、子どもを預けやすい環境づくりが大変重要であるので、ご意見をお預かりし、検討させていただく。
40	—	黒須	入間市に関する報道について。	入間市に関する報道は、入間市へ移住を検討している方や、市民の皆さまに対して大きな影響を与えるものであることから、よいニュースが、皆さまに届くように頑張っていきたい。
41	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	黒須	給食費無償化についての考えは。	食材費は学校給食法で保護者が負担すると定められている。入間市の場合、他市と比較し、食材費以外の人件費や設備費などに経費が多くかかっている現状である。給食を無償化した地域では、食材費に代わる財源確保策として、学校教育の予算を削減したり、給食の質を落としたということも聞いている。どこにお金をかけ、何を維持していくか、皆さまにご理解いただけるよう説明責任を果たしていきたい。
42	住みやすく緑豊かなまちづくり（都市環境、生活環境、自然環境）	黒須	所沢、狭山、飯能、日高、入間5市を結ぶ計画づくりについて、市長の考えは。	現在5市で負担金を出し合い、消防組合を運営している他、ゼロカーボンシティ共同宣言を5市で表明してプロジェクトを進めたり、同性でも婚姻届が出せるパートナーシップ制度の連携に取り組んだりしている。このようなスケールメリットによって、市境の問題を解決し、地域の特色を生かしながら協力し合い、さらに連携を強めていきたい。

43	—	東町	自衛隊入間病院ができたことにより、市にお金は入るのか。	自衛隊入間病院は防衛施設ではないため、入間市へ補助金等は入っていない。
44	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	東町	災害対策や避難所に関する今後の取組について。	災害対策強化のため、令和6年度より危機管理安全部を設置し、危機管理幹を配置した。また、防災訓練においては、実際に災害が発生した場面を想定した内容へ切り替え、避難所開設訓練も新たに導入した。今後も災害対策等は、地域の皆さまと連携しながら取り組んでいきたい。
45	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	東町	市民会館の今後について。	当初、市民会館は耐震工事をし使い続けるつもりでいたが、試算にて耐震工事に約23億円かかることが分かった。コンクリートの耐用年数から、20年後には建て替える必要があり、将来の世代に負担が大きくなることから、閉鎖に踏み切った。なお、現在の場所に再建することは法的に難しいことから、入間市駅前側留保地内に再建することを目指して計画を進めている。
46	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	東町	介護保険料等の値上げにより生活不安を起している高齢者が多い。何に困っているかを聞いて、どのような手当をしていくかを考えていただきたい。	介護保険や国民健康保険は財源を被保険者からいただいて運営している。実態をしっかり把握しながら、支援策を考えていきたい。

47	-	東町	<p>市政の私物化という報道について、市長はどのようにお考えか。また、松下政経塾の会議には今も出席しているか。</p>	<p>私のホームページの後援会事務所欄に、市役所の住所が書いてあったという問題で、元々、この欄には県議時代の事務所を記載していた。その後、事務所を引き払ったことから郵便物が届く先として市役所の住所を載せていた。このことについては、ご指摘をいただいた後、お詫びし、直ちに掲載を取りやめた。</p> <p>次に松下政経塾出身首長会について、私としては報道に一部誤りがあると考えている。これは松下政経塾の会合ではなく、全国に十数人在籍する松下政経塾出身の首長が集まり、政策課題を検討するという勉強会であって、この会は開始以来、各市の秘書課担当が持ち回りでつとめてきた経緯がある。そのため、「松下政経塾の会合」に市職員を出席させた、ということではないと明確にこの場を借りて申し上げたい。但し、公私をしっかりと分けて、市民の皆さまから疑念を持たれないように行動していかなければいけないと常に思っているなかで、今回のことは自身の不徳のいたすところだと大変反省をしている。皆様方に今回のような不安やご心配をかけることがないように、襟を正していく所存である。</p>
48	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	東町	<p>高齢者が健康で元気に過ごせる施策を考えていただきたい。</p>	<p>介護予防に力を入れ、高齢者の方々が外に出て運動をして、元気になっていただくプログラムを増やしていきたい。</p>
49	-	東町	<p>ウェルビーイング、パーパス、スマートシティ等横文字が多くわかりにくい。</p>	<p>わかりやすく変換して伝えられるようにしていきたい。</p>
50	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	東町	<p>パーパス策定や茶畑テラスなど、外部の企業に多くの委託費用を支払って市の事業をやっていることについての考えは。</p>	<p>安価で質が良いものを作るために、民間や外部の力を活用するというのは大切である。適切に予算執行しながら、費用対効果を意識して市の事業を行っていきたい。</p>

51	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	東町	地区センター4分館の2028年での廃止は適切か。	4分館は、耐用年数まで使い続けるのが当初の計画であったが、その間に大規模な修繕が必要となった場合、その時点で廃止を考えなければならない。このようなことが起こらないよう期限を定めて、4分館を9つの地区センターへ移行し、この9つの地区センターを地域の拠点として、皆さまに活用してもらうことが重要であると考えている。
52	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	東町	給食費無償化についての考えは。	食材費は学校給食法で保護者が負担すると定められている。入間市の場合、他市と比較し、食材費以外の人件費や設備費などに経費が多くかかっている現状である。給食を無償化した地域では、食材費に代わる財源確保策として、学校教育の予算を削減したり、給食の質を落としたということも聞いている。どこにお金をかけ、何を維持していくか、皆さまにご理解いただけるよう説明責任を果たしていきたい。
53	—	東町	東町地区センター2階の調理室の水道を直してほしい。	すぐに確認して対応する。
54	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	東町	公共事業に、民間を少しずつ入れているという話があったが、具体的にどのようなことか。	富士見公園では、公園で収益活動をしたお金を公園の整備に充ててよいというパークPFIを用いて、古くなった遊具の修繕費を捻出しながら、魅力化したいと思っている。入間市でこれからつくる新産業団地では、市が区画整理を行うのではなく、民間がお金を出して区画整理を進める。入間市の駅前留保地も民間に直接開発してもらうための動きをしている。民間の力を上手に使い、限りある財源の中で入間市の活性化をしていきたい。

55	—	扇町屋	市長から市民に、お願いしたいことはあるか。	入間市の地域資源はよいものがたくさんあるので、「入間市をほめてみませんか」と市民の皆さまにお願いしたい。市のよいところをみんなで再確認し、地域を「支えていこう」、「守っていこう」と声をかけあいながら、入間市のよいところ探しをしていきたい。
56	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	扇町屋	駅前側留保地を整備して、市民が使えるようにしていただきたい。	駅前側留保地は、市の魅力を体現するスポットにするとともに、皆さまが憩える場所にできたらよいと思うので、色々な方の意見を伺いながら開発を進めていきたい。
57	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	扇町屋	給食費無償化についての考えは。	食材費は学校給食法で保護者が負担すると定められている。入間市の場合、他市と比較し、食材費以外の人件費や設備費などに経費が多くかかっている現状である。給食を無償化した地域では、食材費に代わる財源確保策として、学校教育の予算を削減したり、給食の質を落としたということも聞いている。どこにお金をかけ、何を維持していくか、皆さまにご理解いただけるよう説明責任を果たしていきたい。
58	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	扇町屋	新しい公共施設の建設には、本当に必要な施設なのか慎重に考えるべきである。	ご意見のとおり、本当に必要かしっかり議論をしていかなければならない。これまでの反省点として、建物のメンテナンス等を計画的に行ってこなかったことにある。トータルコストを念頭に検討していく。
59	—	扇町屋	市政運営にあたって、市職員をプロとして育成してほしい。	職員がさらにスキルアップして、コンサルに負けないぐらいの優秀な人材を育てていきたい。

60	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	西武	説明中、西武中学校建て替え費用は予算40億～60億円と説明があったが、20億円の差は？	当初は約40億円と試算したが、物価高や資材の高騰により現在では40億円では収まらないと想定している。40億円～60億円としたのは、そのような状況を加味し、幅を持たせてご説明した。これから設計に入るが、費用を抑えながらも必要な機能を入れていくことに努めていきたい。
61	つながりを大切にしまちづくり（人権、コミュニティ、交流）	西武	知り合いの子育て世帯では、市の施策を知っている人が少ない。市の施策を伝えるために、私たちにも何かできることはないか。	直接対話の場として、子育て世帯向けのタウンミーティングを企画している。（7/7開催済）若い方はSNSへの関心が高くネットで情報を得る方が多いと思うので、若い方にアピールできるようにPRの仕方を一緒に考えていただきたい。
62	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	西武	市長公約のなかに「子どもの遊び場づくり条例」があったが、こども支援に関する総合的な条例を検討しているか。	こども基本法が成立し、遊び場づくりだけでなく、こどもの権利・意見表明も含めて、法で定められた。そのため、国のこども大綱を勘案した「入間市こども計画」を策定し、こどもの遊び場づくりについては、当該計画のなかに位置づけることとした。実際にこどもの居場所づくりに尽力されている方々の意見を聞いて計画に反映していきたい。
63	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	西武	市の財政において、想定される今後の赤字はどのように算出されるのか。	今後かかる費用と入ってくる収入を分析し、財政推計をたて、不足する金額を算出している。差額は行政改革等で埋める計画となっているが、実態を重く受け止め、今後何の予算を削減し、どのように赤字を補填するか、長期的視点で考えていく。
64	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	西武	災害時の水問題について。井戸の水質検査等を行って有事への備えを進めていただきたい。	市内には飲用の井戸はほぼないため、災害時に飲み水として利用できる井戸はないが、水質調査は法律の下、実施している。災害時に水で困ることがないように対策を講じていきたい。

65	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	西武	入間市の魅力発信を広域(市外)に、積極的に行っていただきたい。	市では、入間市の名前がメディアに載ればよいということではなく、この取組がよいと伝えてもらえるような実態作りを進めている。ぜひ市民の皆さんにも入間市の魅力を発信していただきたい。
66	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	西武	子育て政策は、他市の成功事例を取り入れながら進めていただきたい。	アンテナを高くし、他市の成功事例も研究していく。
67	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	西武	西武中学校の統合について、中橋から北の歩道が狭く危険であり、通学路の改善が必要である。現状の見通しで結構なので進捗状況を教えていただきたい。	歩道拡幅は地権者の意向を確認中であり、交差点改良については警察と協議を進め、安全対応等を検討している。
68	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	西武	ふるさと納税額が当初比の20倍になった要因は。	当初は商品単価も低く、商品数や掲載サイトも少なかったのが、コストコ会員券、キャンピングカー、ブルーベリー等さまざまな商品開発を行うとともに、ふるさと応援担当を新たに設置し、入間市のファンを増やそうという取組を積極的に進めてきた結果であると思う。今後も努力を重ね、全国の多くの人に応援してもらえるような市にしていきたい。
69	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	宮寺・二本木	入間市のふるさと納税が増額した理由を教えてください。	コストコ会員券、キャンピングカー、ブルーベリー等さまざまな商品開発を行うとともに、ふるさと応援担当を新たに設置し、入間市のファンを増やそうという取組を積極的に進めてきた結果であると思う。
70	住みやすく緑豊かなまちづくり（都市環境、生活環境、自然環境）	宮寺・二本木	市道の区域別の舗装化率をお聞きしたい。	市道の舗装化率は、全体で均すと72.93%。宮寺が64.06%、二本木が61.19%。豊岡が91%、東金子が75%、藤沢89%、西武が75%、金子は44%である。

71	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	宮寺・二本木	下水道の将来的な構想についてうかがいたい。	下水道は普及率の問題や人口の推移など、周辺の環境によって整備が異なるので、今の段階でこうであるということは申し上げられないが、地域住民の生活環境に資する政策をしっかりと進めていきたい。
72	住みやすく緑豊かなまちづくり (都市環境、生活環境、自然環境)	宮寺・二本木	狭山台のパークPFIの内容と、いつ頃事業が完了するのかを教えてください。	行政が公園の維持管理を行うだけのところに、収益施設を入れ、稼いだお金を公園の整備に充てていくことができるという仕組みがパークPFIである。また、緑が少ない場所に公園を作ろうというのが立体都市公園制度である。今回はその2つを融合し、スーパーの収益で市の公園を整備し、一体的に運営していくという方向性を導き出した。全国的にも事例が少なく、手続きも煩雑だが、1日でも早く皆さまの生活環境に資するよう頑張っていきたい。
73	活気に満ちたまちづくり (産業、観光、市民文化)	宮寺・二本木	博物館アリットの有効活用として、ビアガーデンはいかがか。地域コミュニティの場や狭山茶のPRとして有効であると考えらる。	ビアガーデンで多くの人に集まっていられるのであれば、面白い取り組みである。教育施設としての調和を考えながらも、皆さまの賑わいを創出できるようなスポットとしての仕掛けは、実証実験からでもぜひ考えていきたい。
74	活気に満ちたまちづくり (産業、観光、市民文化)	宮寺・二本木	博物館アリットに道の駅をつくれなにか。	入間市は、埼玉県内で4番目に観光入込客数が多い。ただ、多くの方が入間インターから降りてアウトレットやコストコに行き、市内を周遊することなく帰ってしまう。そこからもう1箇所、市内のどこかに行ってもらうために、道の駅や観光スポット等が必要と考えているので、道の駅構想も含めて研究していく。
75	ささえあいのまちづくり (福祉、健康)	宮寺・二本木	やまゆり荘が廃止とのことだが、それに代わるものをぜひ何か考えていただきたい。	民間事業者との連携を視野に、集まれる・憩える場所を地域内で創出していく取組を推進していく。

76	つながりを大切にしまちづくり (人権、コミュニティ、交流)	宮寺・二本木	地域のつながりなど、いろいろな人の温かさを残していけたらと思う。	地域や文化など、人と人のつながりは本当に大切だと思っているので、これからも大切に継承できるように頑張っていきたい。
77	計画の実現に向けて(行財政運営の指針)	宮寺・二本木	宮寺小と狭山小は、具体的に何年後に統合するのか。	当初は令和10年度の統合を予定していた。小学校は6年間あるので、6年間の周知期間は必要であり、用地、計画が定まってからおよそ6年で開校していきたいと考えている。具体的なスケジュールの公表は、もう少しお待ちいただきたい。
78	安全で安心して暮らせるまちづくり (危機管理、交通安全、生活安全)	宮寺・二本木	武蔵藤沢では、学生の通学時間の信号横断等で、車の渋滞が発生している。歩車分離信号は、市役所からの依頼で設置可能か。	設置には警察の基準がある。警察と協議しながら、地元の県議会議員と協力をし、子どもたちも安心して渡れ、渋滞のない交通システムについて考えていきたい。
79	安全で安心して暮らせるまちづくり (危機管理、交通安全、生活安全)	児童センター	「子どもの居場所」についてどのように考えているか。	各地域で居場所づくり事業にご協力いただいて展開している。今後も地域での居場所づくりを行い、モデル地域となれるように皆さまと協力して進めていきたい。
80	ささえあいのまちづくり(福祉、健康)	児童センター	弟が学童に入れないために、中学生の姉が部活をやめて弟の世話をしている事例を聞いた。待機児童は減ったかもしれないが、他で支障が出ているのでは。	学童で待機児童となっているのは主に4~6年生で、需要はとても高い。学童に入れなかった子どもたちが放課後、家庭へ戻ったときに、兄弟間で支えなければいけないという状況は、ヤングケアラー問題に発展してしまう。家庭の協力をいただきながら、地域と市が体制を整備し、問題を掘り起こせるよう努めていきたいので、具体的事案があれば、地域のソーシャルワーカーへお知らせいただきたい。

81	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	児童センター	夏休み期間など、学童へお弁当を持たせることが大変である。有料でもよいので、ぜひ対策に取り組んでいただきたい。	お弁当を用意することはとても大変なことだと思う。ご意見としていただき、内部で検討していきたい。
82	—	児童センター	市長が考える入間市の資源は何か。	豊かなまち並みや成熟した社会、そして大きなショッピングセンターがあって、人がたくさん来ること、また、広大な茶畑や里山など自然環境も大切な地域資源である。入間市の地域資源一つ一つを大切に未来へ残していきたい。
83	—	児童センター	人へどれだけ投資し、育てられるかということが、入間市の将来への還元につながることだと考えている。	そのとおりである。未来づくりは人づくりなので、徹底的に人づくりに力を入れていきたいと思っている。
84	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	児童センター	家が遠いので児童センターに子どもだけで行くことは難しい。出張児童館のように、各地域に遊べる環境をつくってもらいたい。	市民団体との連携を図りながら、出張児童館のようなものを考えていきたい。また、すでに行っている小学校の校庭開放や子どもたちがふらっと来て遊べる教室事業などを複合的に組み合わせ、地域の居場所づくりを行っていききたいと考えている。
85	安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理、交通安全、生活安全）	児童センター	夏休みや放課後における中学生の居場所づくりについて。	中学生の夏休みや放課後の居場所で、もし何かよい場所があれば教えていただきたい。また、各地区センターや図書館など、各地域の資源を使いながら、中学生の居場所について考えていきたい。
86	学びあいのまちづくり（生涯学習、教育、スポーツ）	児童センター	ICT教育について。タブレットなどを通じ、子どもたちへのアンケートを実施しているか。	子どもたちのタブレットを通じ、教育長との懇談の場を設けている。また、アンケートも実施している。今後も教育委員会と相談をして、「どういった夏休みの過ごし方をしたいか」などアンケートを実施しながら、意見の吸い上げを行っていききたい。

87	ささえあいのまちづくり（福祉、健康）	児童センター	第2子、第3子の給食費を軽減してもらおうなど、子どもが複数人いる家庭の負担軽減策を検討できないか。子どもをたくさん産みたいと思えるような環境づくりをしてもらいたい。	兄妹姉妹の学年によっては、教育費が重なるという点からも、複数人の子どもがいる家庭の負担軽減は非常に重要であるので、市として、どういった方法で財源を捻出できるか、公平性の観点も踏まえ、子どもがいない方からも納得していただけるような議論を工夫して行っていきたい。
88	計画の実現に向けて（行財政運営の指針）	児童センター	「子どもの遊び場づくり条例」の進捗状況について。遊び場を屋外に限らず、屋内にもたくさんつくってほしい。	こども基本法が成立し、遊び場づくりだけでなく、こどもの権利・意見表明も含めて、法で定められた。そのため、国のこども大綱を勘案した「人間市こども計画」を策定し、こどもの遊び場づくりについては、当該計画のなかに位置づけることとした。子どもの遊び場を屋外にとどまらず、視野を広げてつくっていくためにも、計画の中身を実行性のあるものとしていきたい。
89	活気に満ちたまちづくり（産業、観光、市民文化）	児童センター	所属団体にて、遊び場づくりをかなり前から行っているが、情報発信媒体が紙からLINE等のSNSになり、お知らせが子どもたちになかなか届かない。どのようにして子どもたちに情報を届けるか、ぜひ一緒に考えてもらいたい。	団体の方が開催して下さる子ども向けイベントは、子どもたちが楽しめる大切な場所であることから、子どもたちに漏れなくお知らせが届くよう、学校と連携しながら効果的な広報ができるようにしていきたい。